

税金の使い方＝福祉・暮らし応援を最優先に！

市民目線で
市政に提案する

いそがい和典市議

定数4名
削減の
新議会に
なくてはならない議員で
はないでしょうか

子どもの医療費の無料化を訴え続けるなかで平成25年4月から「中学校卒業まで無料」（ただし窓口で一旦自己負担分を支払い、後日、市の担当窓口申請すれば、1ヶ月につき1000円を差し引いて返してもらえる）に前進しました。新入学児童・生徒への就学援助金の入学前支給の要望は、今年度から実現になりました。高すぎる国保税の問題も毎議会のように質問にとりあげてきました。武元市長当時には、平成21年と22年度の2年間限定で一人平均1570円の引き下げを実施したこともありましたが。

急いで実現めざしてがんばります

子どもの医療費

七尾市と志賀町だけが
窓口“有料”

県内 19 市町の 13 市町では無料。【金沢市・野々市町・津幡町・内灘町がワンコイン(500円)です】

いそがい和典市議は、
窓口無料は石川県の制度にすべきです。それを求めるためにも、七尾市での窓口無料化の決断が重要だと訴えています。

財源は、合併で減額されるはずだった地方交付税9億円が入ってくるのでそれを活用。

国民健康保険税

“高すぎる”と
悲鳴！

2年連続県内トップ
昨年度の統計では、国保税滞納世帯は全体の9%。短期保険証は513世帯に交付、「資格証明書」は32世帯。

いそがい和典市議は、
①「せめて1世帯2万円の引き下げ」 ②「収入のない子どもへの『均等割』課税の廃止」を求めつづけてきました。

財源は、当面は5億3千万円ある「基金」(基金)の活用。一般会計からの繰り入れも！

志賀原発は廃炉に！

志賀町と同等の「安全協定」を
七尾市として要求すべき

志賀原発直下の活断層を原子力規制委員会が「活断層」と認定した時点で、志賀原発の再稼働はアウト！ 廃炉しかないことはあまりに当然です。しかし北陸電力はあきらめていません。七尾市としては、福島原発事故をふまえて、志賀町と同等の「安全協定」を結ぶよう強く北電に求めるべきです。

日本共産党の「立党の精神」は “国民の苦難解決”

「国民にとっての最大の苦難は政府が戦争を起こすこと」…だから一貫して戦争に反対し、今も戦争準備の一連の法律に反対してがんばっています。

日本共産党は、「困っている人を見るとほおっておけない」人の集まりです。困難解決の方策を考えあう“世直しボランティア”の集まりです。あなたもぜひ日本共産党へ。



毎年おこなっている県社会保険推進協議会と七尾市との懇談 中央にいそがい和典市議



原発センター能登として、原発事故時の避難対策について七尾市の担当者との懇談